

第 68 回社会を明るくする運動 千二地区保護司会＋公民館
映画上映会

東京のとある公立中学校。ごく普通の中学校です。
でも、一つ違っていたのは始まりのあいさつ。
それは

こんばんは

—ドキュメンタリー映画<カラー16mm 92分>— 森 康行 監督作品



第1回文化庁映画賞文化記録映画大賞
キネマ旬報ベストテン 文化映画1位
毎日映画コンクール記録文化映画賞(長編部門)
日本映画ペンクラブ賞 日本映画ノン・シアトリカル部門第1位
第9回平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞

ここは「夜間中学」
「夜間中学」って知ってますか？なんで年とってから中学校に？
ちょっと気になるこの学校。あなたものぞきにきませんか？
「こんばんは」って

解説 (1回目の上映終了後 15:15 から講演していただきます)

友岡雅弥さん (NPO 法人 CPAO「大阪子どもの貧困アクショングループ」理事)

2018年7月22日(日) 千里山コミュニティセンター多目的ホール
2回上映 ①13:30 ②17:00 阪急千里山駅東口すぐ BiVi 千里山3階 TEL:06-6310-7002

入場無料 6月20日(水)受付開始。当日参加も受け付けますができるだけ事前の申込みをお願いします。

申込み・問合せ 千二地区公民館 TEL/FAX: 06-6389-7100 吹田市千里山東2-19-23 <http://sen2com.com>

主催: 千二地区保護司会 吹田市千二地区公民館 後援: 関西大学人権問題研究室

学ぶ喜び、生きる喜びを取り戻す

東京都墨田区立文花中学校夜間学級を舞台に2年半をかけて作られたドキュメンタリー映画です。文字を学ぶ機会なく生きてきた高齢者の男性、国際結婚で生まれ学校で落ち着いて学ぶ機会のなかった青年、心の傷を抱え声を出すことのできない少年。さまざまな背景を持った人たちの学ぶ姿にたくさんのことを感じていただけたと思います。それは学ぶことを奪われた悲しさや悔しさであったり、学ぶことの喜びであったりします。イヤイヤ漢字の練習をしたり、ああ、なんで数学なんか勉強せなあかんねん、と思ってた私やあなたに贈る映画です。



夜間中学とは

公立の中学校の夜間学級のことをいいます。

戦後の混乱期、昼間学校に行くことが出来ない子供たちのために1947年に大阪で始まりました。1955年ころには全国で80校を数えましたがその後減少し、1966年には当時の行政管理庁から廃止勧告が出されます。それに反対して立ち上がった一人の青年の熱意で、当時夜間中学のなくなっていた大阪に新たに夜間中学が開設されます。その後、数を増やして今も府内11校に夜間学級が設置されています。東京をしのいで全国一です。

現在、全国8都道府県25市区に31校が設置されています。通っている人もさまざまで戦後の混乱で学校に通えなかった人、中国から引き揚げてきた人、仕事や結婚で来日した外国の人など背景はさまざまですが、学びたい人の願いに対応して学びの機会の確保に大切な役割を果たしています。また、不登校などでいわゆる《形式卒業者》（＝学校に行っていないが卒業したことになっている人）となった人も受け入れるようになってきています。

一昨年「教育機会確保法」が成立し、文部科学省も各都道府県に1校は夜間中学が設置されるよう、その設置を促しています。来年、神奈川県と埼玉県に1校ずつ新設される予定だそうです。

そのほか、いろいろな形で自主夜間中学や識字講座などが取り組まれており、その数は161の市区町村で1533件に及んでいます。

講師について

1回目の上映後、講演をお願いする友岡雅弥さんは、長年ハンセン病、被差別部落、在日、沖縄、障がい者、野宿生活者など、さまざまな社会の片隅で息をひそめて暮らす人々の日常生活のお手伝いをしてこられ、2011年3月11日以降、東北太平洋沿岸被災地に通い続ける社会活動家です。NPO法人CPAO「大阪子どもの貧困アクショングループ」理事として子どもの貧困問題にも深く関わってこられました。今回は、映画に即して夜間中学の歴史や現代的意義などについてお話いただく予定ですが、質疑の時間も十分取りたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。